

2024年3月13日  
日本生命保険相互会社



## NISSAY ペンギンプロジェクト 「新生活応援に向けた保育の魅力発信企画」について

JR東日本グループ 子育て支援事業

**NISSAY ペンギンプロジェクト** ×  **HAPPY CHILD PROJECT**  
produced by East Japan Railway Company

日本生命保険相互会社(以下「当社」)は、“子育ての壁や不安がない社会”をみんなで考え、共に作っていく「NISSAY ペンギンプロジェクト」\*(以下「当プロジェクト」)を推進しており、SNS や WEB でのさまざまな情報発信を通じて社内外の風土醸成を図るとともに、当社の理念に賛同いただいた企業・自治体とともに、子育て支援に関する新たな商品・サービス等の価値提供等、社会で支える仕組み作りに取り組んでおります。

このたび、JR 東日本グループが推進する子育て支援事業「HAPPY CHILD PROJECT」と連携し、春から初めて保育所に通うことに不安を抱える保護者に向けて、保育所を利用する皆さまの声の発信を通して、安心をお届けします。

(\*特設サイト:<https://www.nissay.co.jp/kaisha/penguin/>)

### 1. 取組背景

保護者を支える保育所は、子どもの居場所であるだけでなく、子どもにとっては保育の専門職がいる環境で家庭とは異なる経験ができたり、同世代の子どもなど家族以外と関わる機会が得られたりするほか、保護者にとっても育児負担の軽減や孤立感の解消につなげることなどが期待される、大切な仕組みです。

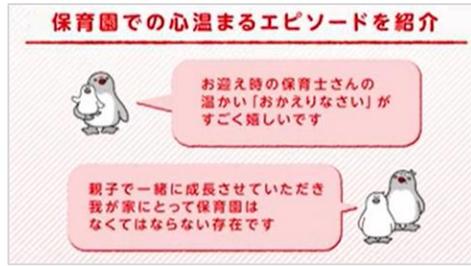
一方で、保育者の労働環境や待遇は改善せず人手不足が加速するなどの課題に直面しているのが現状です。

保護者の孤独感が社会課題となっている中、「みんなで子育て」をするための大切な仕組みである保育所と保育の仕事の理解浸透を図るとともに、保育サービスなどを活用して「周囲に頼る風土の醸成」を行います。

### 2. 実施内容

- 実施期間 2024年3月18日～
- 内 容 両社の媒体を活用して、保育所を利用する保護者の声を発信していきます。
  - 首都圏の主要路線の電車内液晶ディスプレイ広告「トレインチャンネル」等
  - NISSAY ペンギンプロジェクト公式 HP、HAPPY CHILD PROJECT 公式 HP

トレインチャンネルにて  
保育所でのエピソードを紹介（イメージ）



NISSAY ペンギンプロジェクト HPにて  
保護者・保育者から寄せられた声を元にした保育所漫画を掲載（イメージ）



### <「HAPPY CHILD PROJECT」について>

JR 東日本グループ 子育て支援事業



仕事と家庭の両立をサポートし地域に貢献したい。そんな思いのもと、JR 東日本グループでは、首都圏を中心とした沿線に保育所を始めとする子育て支援施設の開設や親子でできるイベント開催など子育て中の家族を応援する幅広い取り組みを進めています。

JR 東日本グループのモビリティ・生活ソリューションの各ビジネスの強みを生かして、子育てのさまざまな不安・負担の解消に貢献し、社内外との共創・協業により子どもと子育てのより良い未来に挑戦します。

### <「NISSAY ペンギンプロジェクト」について>

## NISSAY ペンギンプロジェクト

核家族の進行や女性の社会進出など子育て環境が大きく変化している中、子育ての壁や不安を当事者だけに留めるのではなく、次世代に向けて社会全体で考えるべき問題として捉え、“子育ての壁や不安がない社会”をみんなで考え、共に作っていく「NISSAY ペンギンプロジェクト」を2022年4月より推進しています。

具体的には、SNS や WEB でのさまざまな情報発信を通じて社内外の風土醸成を図るとともに、当社の理念に賛同いただき、ともに取組を行う企業・自治体を増やしていき、子育て支援に関する新たな商品・サービス等の価値提供等、社会で支える仕組み作りにつとめてまいります。

#### (ご参考:NISSAY ペンギンプロジェクトのステートメント)

##### <ロゴやステートメントに込めた想い>

群れ全体で協力して子どもを育てる習慣のある“ペンギン”をモチーフに、「みんなで子どもを育てる社会」の実現を目指すプロジェクトです。

コウテイペンギンは父親と母親が交互に卵を温め、両親が揃って狩りに出かけるときには、クレイシと呼ばれる集団を作って親ではない個体がヒナを守ります。まさに、「子育てしやすい社会をみんなでつくる」を体現している動物であり、当プロジェクトのモチーフに相応しいと考えました。

## 子育てしやすい社会を、みんなで。

未来をつくるのは、いつだって子どもたち。けれど、この国では

多くの人が、子どもを育てることの難しさに直面しています。

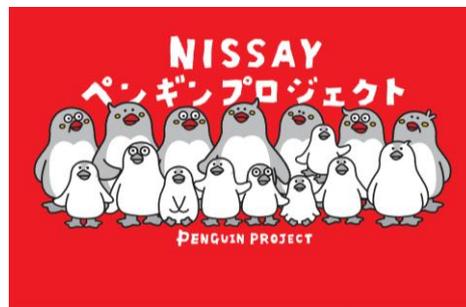
みんながもっと自分らしく生きられる明日を叶えるために。

子どもたちが未来に向かって伸びやかに、自分の可能性をひろげることができるように。

群れ全体が協力しあって子どもを育てるペンギンのように、

子育ての壁や不安のない社会を、みんなで手を取り合ってつくっていこう。

子育てに頑張るすべての人を、そして子どもたちの未来を、私たちは全力でサポートします。



以上  
2023-4114G 事業企画室